

平成 30 年度 練馬区地域おこしプロジェクト選定事業の評価について

団体名	NPO 法人障がい児・者の学びを保障する会
事業名	ダイバーシティ発信基地 LDK (アイエルディーケー)

1 平成 30 年度の実績

[活動の周知]

ワークショップ「からみとつらなり」(2日間 参加者 延 140 人)

[活動の安定化]

当団体が行う知的障害者の学びを支援する取り組みが文部科学省実践研究事業に採択され、多彩な講座プログラムを企画・実施

(CLOSE 講座 14 講座、OPEN 講座 11 講座)

地域おこしプロジェクトとして、OPEN の 4 講座を区と協働で実施

- ・栄養と健康管理 (健康推進課)(2日間 参加者 延 15 人)
- ・防災【防災学習センター】(参加者 9 人)
- ・選挙の仕組み【選挙管理委員会事務局】(参加者 21 人)
- ・ボランティア STAFF 体験【協働推進課】(2日間 参加者延 27 人)

2 平成 30 年度の評価

文部科学省の研究事業の委託先として採択され、障害者の学びに関する事業を充実できたことは、区と協働することで得られた大きな成果だと評価できます。

当該研究事業終了後の財源確保を見据え、就労・雇用支援として、障害者雇用を行う企業を対象に、安定雇用のメソッドをパッケージ化し、受託資金を得るなど、具体的な取り組みを検討されていると伺いました。取り組む際には、他の分野で企業連携している優良事例などを参考としてください。

学びの支援や就労・雇用支援は手段であり目的ではないと思います。昨今のダイバーシティや SDGs といった考えにより、社会や職場の中で障害者が溶け込んでいく状態に作られるであろう流れの中で、当事業に参加される方が人生観を描け、豊かな生活をイメージできるようになると広がりが加速することでしょう。

次年度は、法定サービスである生活訓練事業所を開設することで、拠点を活用した事業が中心になると思います。学びを通じて、当事業が変化していく様子を可視化したり、障害者と健常者が直に接する機会を作るなど、多くの方にこの事業の意義を伝える工夫をし、波及効果を生み出してください。期待しています。